

一三四二番

山やまたか高み 夕ゆふひかく日隠りぬ 浅あさぢはら茅原 後のちみ見むたために  
標しめゆ結はましを

一三四三番

言こちた痛くは 我われし刈りてば  
かもかもせむを 岩いはしろ代の 野のへ辺の下草したくさ

一三四四番

真まとりす鳥住む 雲うなで梯の社もりの 菅すがの根を 衣きぬにかき付け  
着きせむ児こもがも

一三四五番

常つねならぬ 人ひとくにやま国山の 秋あきづの津野の 夢いめに見しかも  
かきつはたをし